

## ミクログリアがシナプスを 貪食する仕組み



講師：樽松 千紘 先生(医学部5年 MD PhDコース)  
名古屋市立大学 大学院医学研究科  
脳神経科学研究所 神経発達・再生医学分野

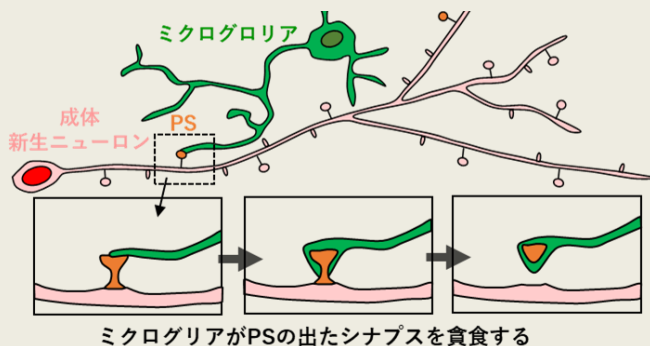
日時：2022年8月25日(木) 17:00～  
場所：名古屋市立大学桜山キャンパス  
医学部研究棟11階 講義室B

本セミナーはZOOMによるオンライン配信も致します。オンラインでの参加は下記URL又はQRコードからログインしてください。

URL：<https://us02web.zoom.us/j/89094393004>



哺乳類の生後脳で作られた新しいニューロンは、嗅球や海馬へ移動した後、他のニューロンとシナプスを形成することで、高度な機能を持つ神経回路を作ります。この成体新生ニューロンの成熟過程には、中枢神経系の貪食細胞であるミクログリアが重要な役割を果たします。しかし、ミクログリアが成体新生ニューロンのシナプスの数を調節する仕組みについては、十分に解明されていません。私たちはホスファチジルセリン (PS) という細胞膜を構成するリン脂質に着目し、ミクログリアがPS依存的に成体新生ニューロンのシナプスを貪食することで、シナプスの数を調節していることを見出しました。本セミナーでは、私たちの研究成果をご紹介しますとともに、ミクログリアによるシナプス貪食の異常と疾患との関連についても議論したいと考えております。



(Kurematsu et al., J. Exp. Med. 2022 ; 219 : e20202304)

世話人：山川和弘 (医学研究科・神経発達症遺伝学分野)

TEL: 052-851-5612, E-mail: yamakawa@med.nagoya-cu.ac.jp